

2021年 2月9日

SBT(Science Based Targets)の設定を表明しました

帝人株式会社は、パリ協定が定める目標に科学的に整合する温室効果ガスの排出削減目標「Science Based Targets (サイエンス・ベースド・ターゲット)」(以下「SBT」)を認定する機関「SBTiイニシアチブ」(以下「SBTi」)に対して、このたびコミットメントレターを提出し、2年以内にSBTの認定取得を目指すことを表明しました。

SBTiは、企業が掲げる温室効果ガスの長期的な削減目標が、パリ協定の「地球の気温上昇を産業革命前と比べて2°C未満に抑える」という目標の達成に必要な水準を満たす場合に、「科学的に整合している目標(SBT)」であると認定します。

当社は、2020年からの中期経営計画における環境負荷低減の長期目標として、CO₂排出量を2030年度までに2018年度比で20%削減、2050年度までに実質ゼロの達成を掲げています。こうした中で今回は、SBTiの認定基準(*)における、「2°Cを十分に下回る目標水準(Well-below2°C:WB2°C)」以上の高い目標として認定されることを目指します。

(*)SBTiの認定基準:「2°Cを十分に下回る水準に抑える基準(well-below 2°C)」と、より高い水準の目標である「1.5°Cに抑える基準」の2段階で認定しています。

帝人グループは、「未来の社会を支える会社」になることを長期ビジョンとして掲げ、「環境価値」「安心・安全・防災」「少子高齢化・健康志向」の3つのソリューションで持続可能な社会の実現に貢献すること目指しています。それに向けて、人を中心に考え、「Quality of Life」を向上させる革新的なソリューションを提供していくとともに、事業活動に伴う環境、社会への負の影響が最小限となるよう努力していきます。

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL:(03)3506-4055